

「くすのき会会員の皆様へのお知らせ」

医学教育ならびに教員・医師の教育と医学研究の発展のために献体された方のご遺体を解剖しております。研究課題は以下の通りです。

研究課題名 人体解剖のための遺体防腐処置に関する研究

研究の概要

解剖学教室では、本学解剖委員会並びに倫理委員会の審査を受け、病院長および学長の承認により、くすのき会よりご献体いただいたご遺体 20 体を用いて上記研究を実施します。

当教室では、現在、ご遺体の防腐処置は特殊注入ポンプを用いて固定前液(凝血除去剤)を注入し血管内の凝血を除去した後、ホルマリンを主成分とした固定液を注入して、全身の灌流固定を行っています。固定方法としては極めて有効ですが、解剖時のホルマリンの暴露など問題点もあります。8%イソプロパノールを含有した動脈用薬剤使用による固定は、殺菌・消臭効果もあり、皮膚や関節が柔らかく筋は生体に近い状態が維持されるとの報告があり、またホルマリンを使用していないため、解剖時のホルマリン暴露の危険性も無くなります。

今回、新たな固定液を作成し、注入後により効果的な解剖結果が得られる固定方法を検討し、また、現在まで行われている固定方法との比較・検討を行う予定です。研究期間は平成 25 年 7 月 31 日から平成 31 年 3 月 31 日の予定です。

本研究は解剖学主任教授樋田一徳の教員研究費で行う研究であり、深刻な利益相反の状態にはなっていません。

本研究において個人が特定できるような個人情報に関わるデータは一切使用いたしません。

本研究に関して何かご不明の点、ご質問がございましたら下記主任研究者までご連絡ください。

研究組織：川崎医科大学解剖学教室

主任研究者：解剖学 教授 樋田一徳

連絡先：701-0192 岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 解剖学 樋田一徳

TEL：086-462-1111（内線 27520） FAX：086-462-1199

E-mail：toida@med.kawasaki-m.ac.jp